もっと知りたい

武者小路実篤

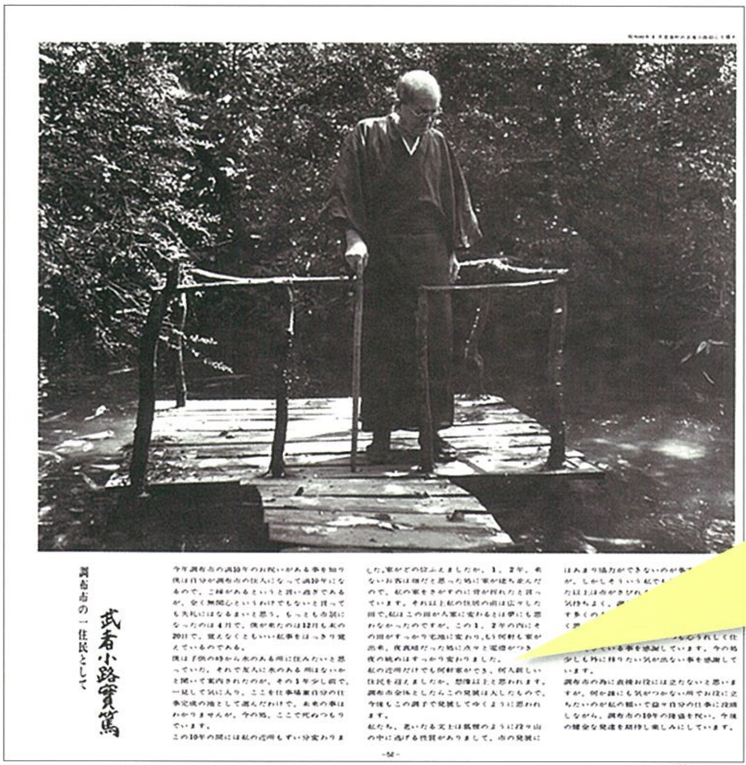
地域に残る実篤（さねあつ）の足跡（そくせき）

調布

調布ゆかりの偉人（いじん）として、実篤の元には原稿（げんこう）や書の依頼（いらい）が多く寄せられました。いくつかをご紹介（しょうかい）しましょう。

「調布市の一住民として」

調布市制十周年にあたる昭和40（1965）年、実篤にとっても調布市仙川（せんがわ）の地に移り住んで10年目にあたる年に、次のような文章を寄せています。


調布市の一住民として

武者小路實篤

-52-

「…田がすっかり宅地に変わり、もう何軒（げん）も家が出来、夜真暗だった処（ところ）に点々と電燈（とう）がつき夜の眺（なが）めはすっかり変わりました。…（略）…調布市全体としたらこの発展は大したもので、今後もこの調子で発展してゆくように思われます。…」

昭和40（1965）年『市政要覧～調布市制十周年記念～』より　調布市郷土博物館蔵（ぞう）

調布消防協働団体機関紙

題字
調布消防
〈第100号記念〉
君は君 我は我也 されど仲よき
實篤
今号の特集
春の火災予防運動
新入社員教育のすすめ
東京の消防118年

「調布消防」第100号　平成11（1999）年2月

調布市老人クラブ連合会機関紙

題字
不老文新
謹賀新年
調布眼科医院
古沢眼科

「不老文新（ふろうゆうしん）」第109号　平成25（2013）年1月

文新とは、さらに新しいの意。